

写真と

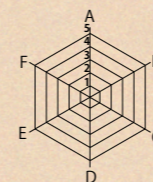
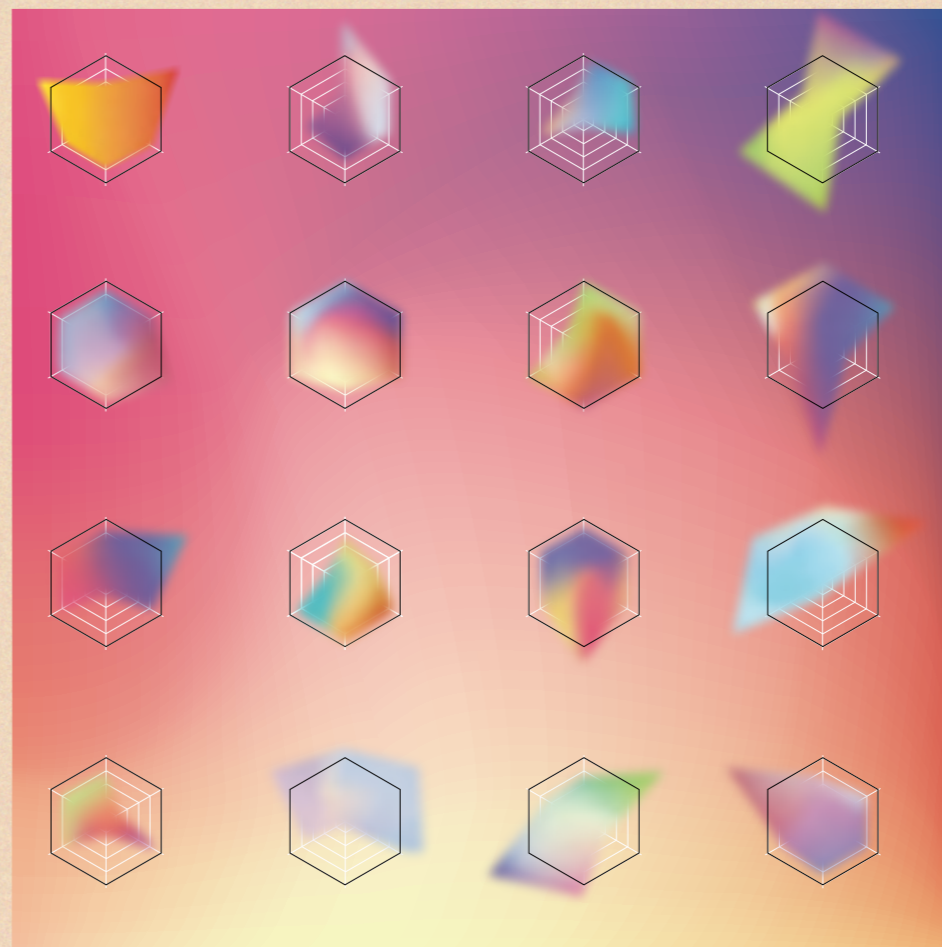
主催：福岡市

九州大学芸術工学研究院 社会包摂デザイン・イニシアティブ

第2回 ジェンダーデザイン・コンテスト

福岡市では、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を目指しています。また、2015年の国連サミットで「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標5に「ジェンダー平等を実現しよう」が掲げられ、日本を含む世界中が目標実現に向けて取り組んでいます。

このコンテストではジェンダー平等について考えるきっかけをつくるポスターを募集します。皆さんの問題意識を、これまでにない発想で、ユニークに表現してください。



右の図はレーダーチャートといわれるグラフです。ある事柄を属性（左の図ですとA~Bの6項目）をそれぞれ5段階の基準で示したものです。属性と基準を共通化・単純化することでわかりやすくなります。結果は大きな正六角形がいいと言われます。しかし、6つの属性以外は見えません。本当はおさまらない値も基準の範囲におさまられます。

募集要項公開
8/1

作品締め切り
9/30

一次審査結果発表
10月中旬

公開二次審査・表彰
11/3

九州大学芸術工学研究院 社会包摂デザイン・イニシアティブは、多様性のある包摂型社会の「しくみ」をデザインする先導的研究拠点です。

社会包摂とは、障害、貧困、人種、国籍、性的指向などによって社会から阻害されてきた人たちを含めた、あらゆる人たちの存在が尊重される社会のあり方を表す言葉です。このような包摂型の社会を実現するためには、従来とは異なる方法で、もの・こと・サービス・社会制度をデザインしていかなくてはなりません。また、これらを一体的に「しくみ」としてデザインし、社会実装していくことも不可欠です。社会包摂デザイン・イニシアティブは、多様なニーズに応じたサービスを提供し、個人のポテンシャルを引き出すための「しくみ」をデザインすることで、健全な成長や、豊かさの新しい価値を生み出す社会づくりを先導していく研究教育機関です。

福岡市男女共同参画推進センター・アミカスは、男女共同参画の推進に関する施策を実施し、及び市民等による取組を支援することにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的に、昭和63年11月に九州で最初の女性センターとして開館し、その後、平成16年4月に名称変更しました。

男女の自立や男女共同参画を促進するための講座や女性のチャレンジ支援のための講座などを開催するとともに、夫婦関係・DV（ドメスティック・バイオレンス）・家族問題・職場や地域の問題など、さまざまな悩みに臨床心理士などの専門の相談員が電話や面接で対応する相談事業などを行っています。他にも男女共同参画社会実現のために情報提供事業・地域支援事業・市民グループ活動支援事業など幅広いアプローチで、男女の自立と男女共同参画社会実現に取り組んでいます。



福岡市男女共同参画推進センター
アミカス

〒815-0083 福岡市南区高宮3丁目3-1
TEL : 092-526-3755
amikas@city.fukuoka.lg.jp



九州大学芸術工学研究院
社会包摂デザイン・イニシアティブ

〒815-8540 福岡市南区塩原4丁目-9-1
TEL : 092-553-4552
didi-office@design.kyushu-u.ac.jp



写真とことば

福岡市では、一人ひとりが性別にかかわらず、様々な場で、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、男女の固定的役割分担意識などをはじめとした課題の解消に取り組んでいます。このコンテストでは、作品づくりや、作品の展示をとおして、より多くの方にジェンダー平等について考えていただき、男女共同参画社会の実現につなげていきたいと考えています。これまでにない発想での表現をお待ちしています。

福岡市男女共同参画推進センター・アミカス

このコンテストは、福岡市や九州大学の男女共同参画や社会包摂デザインに関わることを理解していただき、それが表現やコミュニケーション活動にも展開することを期待して計画されたものです。また、コンテスト応募や受賞だけでなく、よりよい展開につながるよう広がりを目指し、九州大学基幹教育科目「社会包摂とデザイン B」と連携をします。希望者はオンデマンド受講が可能となっています。またコンテスト終了後も、福岡市役所や福岡アジア美術館などで展示され、様々な方々と一緒に、社会包摂デザインを伝えていきたいと考えています。

九州大学芸術工学研究院 社会包摂デザイン・イニシアティブ

応募要項

- テーマ** : 写真とことばによる「ジェンダー」の表現
- 募集対象** : テーマを写真と言葉で表現したもの。オンライン・オフラインで展示・閲覧や印刷などが可能なもの
- 応募資格** : 個人やグループ、年齢、性別、職業、国籍は問いませんが、以下のすべての要件を満たす方といたします。
1. 「公開審査」(2022年11月3日(木・祝)・アミカス:福岡市南区高宮3丁目3-1)にて、会場もしくはオンラインにてプレゼンテーションできる方
※「公開審査」の参加に関する交通費やオンライン接続のための費用は個人の負担になります。
 2. コンテスト会期中及び終了後、福岡市や九州大学での展示や印刷等による公開に同意の得られる方
 3. 九州大学授業「社会包摂とデザイン B」オンデマンドで受講できる方
- 応募点数** : 制限なし ※応募作品は未発表のものに限ります。また他者の著作権等を侵害していないもの
- 賞と賞金** : 一次審査通過作品から、公開審査で3点程度の賞を決定し、表彰状と賞金(3万円)を授与します
- 審査員** : 知足美加子 九州大学芸術工学研究院 教授 審査委員長
工藤真生 九州大学芸術工学研究院 助教
小林美香 写真研究者
西村孝志 福岡市市民局人権部長
三笠和弘 福岡市男女共同参画推進センター・アミカス館長
- 審査基準** : ジェンダー、社会包摂への理解、機知に富んだ表現、社会への訴求力など
- スケジュール** : 8/1 募集要項掲載ホームページ公開
9/30 募集締め切り
アミカスウェブサイト (<https://www.city.fukuoka.lg.jp/amikas/>) から、PDFデータ提出
10月中旬 一次審査通過者へ通知
11/3 公開審査

詳細はアミカスのウェブサイトをご覧ください。

ジェンダーデザインコンテスト

主催：福岡市 / 九州大学芸術工学研究院 社会包摂デザイン・イニシアティブ

コンテスト応募者用九州大学オンデマンド講義

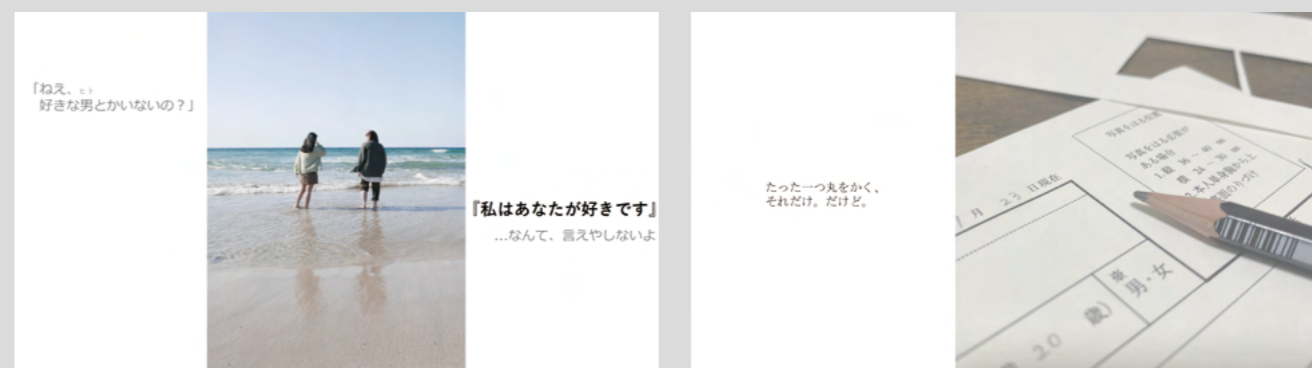
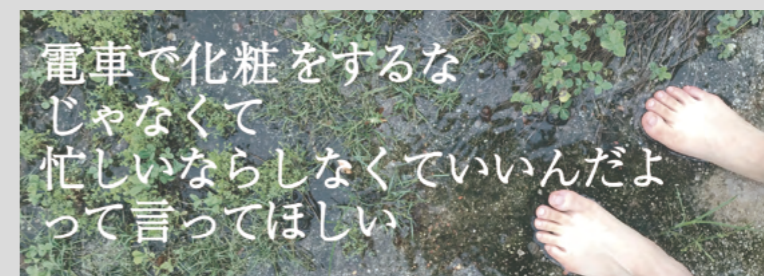
「社会包摂とデザイン B」より

- 1 「ジェンダーとデザイン」中村美亜 芸術社会学 九州大学芸術工学部未来構想デザインコース
人間は「生きるため」にさまざまな表現活動をしています。表現やコミュニケーションのこうした側面に目を向けながら、異なる人たちが異なるままに共存する社会をつくっていくにはどうしたらよいかを考えます。
- 2 「パブリックとデザイン」尾方義人 デザイン学 九州大学芸術工学部未来構想デザインコース
公共を考えるためには、一人のユーザーや産業の立場からだけではより良いアプローチは見い出せません。公共の広告・機器やサービスから、街やパブリックとはなんなのかを考えてきたいと思います。
- 3 「公共」社会包摂デザイン研究会より
研究会概要：100年前、大正デモクラシー、後にそう呼ばれた、活動、時代がありました。政治、外交、社会、文化などさまざまな側面から新たな制度を生み出しながら模索していた時代といえます。100年後の今も戦争、難民、ジェンダー、感染症、教育、子ども、労働、その他多くのさまざまな課題に一気に素早く向き合わなければならない時代です。そしてまた、4月から「18歳成人」となり、高校では「公共」という新しい授業が始まったタイミングです。芸術工学らしく多方面から「公共」を考えようという研究会です。

以上の講義をオンデマンド受講希望される方は、didi-office@design.kyushu-u.ac.jp までご連絡をお願いします。

昨年度入賞作品

参考例です。構成や形式・内容にとらわれる必要はありません。必ず自身で撮影した写真と自身で考えたことばを使った作品にしてください。フリー素材の場合は審査対象にはなりません。



入賞作品展 (予定)

- 2022年11月3日(木・祝)~11月28日(月) アミカス1Fロビー
2022年12月1日(木)~12月5日(月) 福岡アジア美術館交流ギャラリー：
2022年12月6日(火)~12月9日(金) 福岡市役所1階多目的スペース：

このページ文字は、九州大学芸術工学研究院との共同研究に基づき、フォントワークス株式会社が開発した K-UD (ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています。UD フォントとは、「可読性」「視認性」「判別性」に優れ、年齢・性別に関係なく、誰もが読みやすく、見やすい書体のことをいいます。